

両地区の概要

当地区は都心から南東へ約2kmに位置し、古くは豊平町として市内でも有数の歴史をもち、かつては市電や定山溪鉄道の結節点として商工業が栄えました。しかし、昭和30年代から工場の移転や人口の減少が始まり、その後は、用途の混在や木造老朽家屋の密集、道路・公園の不足など基盤整備も遅れ、本市の中でも特に住環境の悪化が著しい地区となりました。

豊平橋南地区の概要

この様な課題の解消に向けて、昭和56年に「豊平川河畔地域右岸地区整備基本構想」が策定され、この地区を重点整備地区に位置付けるとともに、本市のコミュニティ住環境整備事業(旧名称)と民間による市街地再開発事業等の合併施行の実施により、市街地環境の改善が図られ、防災性が高まりました。

①豊平橋南第一地区

第一種市街地再開発事業

(昭和62～平成3年度 組合施行)
リバーサイドの恵まれた環境と眺望を生かした魅力的なホテル



サッポロリネッサンスホテル

④豊平3・3地区

第一種市街地再開発事業

(昭和56～58年度 組合施行)
豊平のまちづくりの第一歩となる複合住宅

その他の地区整備

⑤コミュニティ住環境整備事業

(昭和58年～平成10年度)

- ・老朽住宅の除却、道路の整備、公園緑地の整備、コミュニティ住宅の整備など

②豊平橋南2-II-A地区

③豊平橋南2-II-B地区

優良建築物等整備事業

(②平成12～14年度 ③14～16年度 共同化タイプ)
木造老朽家屋等を解消し、居住環境の向上を実現した共同化型事業



②エクセルシオール豊平橋南
③エクセルシオール豊平橋南アスタ

その他の地区整備

- ④密集住宅市街地整備促進事業(平成7年～16年度)
老朽住宅の除却、道路などの公共施設の整備
- ⑤住宅市街地整備総合支援事業(平成7年～10年度)
従前居住者の賃貸住宅、分譲住宅、公園の整備

豊平中央地区の概要

地下鉄東豊線延長計画の決定(平成6年開業)を契機として新しいまちづくりの機運が高まり、平成4年に「市街地総合再生基本計画」を策定しました。平成7年以降3つの事業を組み合わせ一体的な整備を進めた結果、防災性の向上と土地の高度利用が図られ、高齢者だけではなく幅広い世代が暮らしやすい地域に生まれ変わりました。

⑥豊平6・6南地区

第一種市街地再開発事業

(平成8～11年度 公社施行)

当事業では業務施設、住宅施設、公共公益施設を整備し、そして地区の中央に広場、各施設の境界には幅4mの植樹帯を配置しました。公共施設として札幌留学生交流センターや札幌国際コースホテルを誘致したことから、様々な人々が交流する地域の核として、活力あふれるまちづくりを実現しています。



ラポール学園前、札幌留学生交流センター、札幌国際コースホテル

⑦豊平6・6北地区

第一種市街地再開発事業

(平成13～18年度 公社施行)

南地区に続き事業化した当地区では、権利者複合施設1棟を整備したほか、特定建築者による教育研究施設2棟や地下鉄連絡通路、駐輪場の整備を行いました。また、周辺には、居住機能等への環境に配慮し緩衝緑地帯を設け、居住者だけではなく地域住民に潤いの空間を創出しています。



北海商科大学、エクセルシオールデュオ学園の杜